



夜間中学

『夜間中学』と聞くと、皆さんはどんなイメージがわいてきますか？「何それ？」「夜に通う中学？定時制みたいなもの？」「若いころにいろんな理由で学ぶ機会がもてなかった人達が勉強するところ？」など、言葉からなんとなくイメージすることはできたとしても『夜間中学』が何であるか、ということ想像できる方は多くはないかもしれません。私も以前はそうでした。

『夜間中学』は、文部科学省のもと「中学」としてのカリキュラムに沿って勉強する公立学校もあれば、民間の団体やボランティアの方々が運営する学びの場など、様々な形態があります。どんな方が実際に通っているかというと、中学生という学齢の時（13歳から15歳）に、戦争であったり家庭の事情などで中学校や小学校に通うことのできな

かった方、不登校や病気などで中学での学びが十分にできなかった方（通えなかったけど、卒業はした）方を『形式卒業者』と言います。本国において義務教育を修了していない外国籍の方など、年齢も国籍も幅広く多様性に富んだ方々が夜間中学で学んでいます。「できないこと」「わからないこと」「知らないこと」を人に知られたくない、という思いよりも、「知らないことを知る」「学び直して過去の時間を取り戻す」「未来の選択肢を広げる」という力強い意思をもって学ぶために集う場所だと言えます。様々なバックグラウンドを持った方が集まり、それぞれの目的のために希望をもって通う学校であるため、お互いを認め合いながら先生も生徒も生き生きと交わりながら学んでいます。中には仕事を終えた後に『夜間中学』に通っている方もいます。仕事終わりに学校なんて疲れるだろうなあ、と思ってしまうですが「自分らしく生きていくために学ぶ」という選択をして週5日間、毎日通学しているのです。

軽井沢町では、学校に行けなかったり行きづらい状態の生徒が通える『学びの多様化学校』と『夜間中学』が併設

される『軽井沢オープンドアスクール（仮称）』の準備が進められています。この『夜間中学』は、中学と同じ9教科の学習をする公立の中学であるため、授業料と教科書は無償となり、課程を終了することで中学卒業資格を得ることができます。令和9年開校予定の、この町のこの学校で少しでも多くの方が、自分らしく生きていくための学びをすすめていくことができると思いますね。

文部科学省の「夜間中学」の紹介動画



過去の「こころらば」は町ホームページからご覧になれます。



第3回軽井沢オープンドアスクール（仮称）設置準備会議を開催しました

多様な学びを実践する新たな学校の創出に向け、

● 学びの多様な学校（不登校児童への支援）

● 夜間中学

（中学校未就学者への支援・外国籍の方のニーズ等）や、現在ある学校のさらなる魅力化

を検討する「軽井沢オープンドアスクール（仮称）設置準備会議」の第3回目を、令和7年7月14日に開催しました。

会議録は準備ができ次第、ホームページに公開します。

また、機運醸成のイベントとして、「一般向けフォーラム＆ワークショップ」を9月22日（月）13時から15時まで、中央公民館にて開催します。どなたでも参加ができます。詳しくは、9月号でお知らせします。

【問い合わせ】

軽井沢高校・教育魅力推進係

☎45-8672

新盆見舞は生活改善で

生活改善は、生活様式の簡素化、合理化等、よりよい社会の形成を図るとともに時代に応じた生活の改善を図ることを目的としています。新盆についての申し合わせ事項もありますので、協力をお願いします。

「新盆見舞金は出さないようにし、お返しはしないようにしましょう。」

・「新盆見舞金辞退」の貼紙を提示する ・芳名帳への記帳をもってお見舞いとする

※新盆見舞金辞退貼紙および芳名帳は中央公民館、各地区の区長宅、もしくは各分館に用意してあります

生活改善で新盆を行うかどうかは最終的には個々のお宅で決めることですが、生活改善の主旨をご理解いただき、一層の普及に協力をお願いします。

【問い合わせ】 軽井沢町生活改善委員会（事務局 中央公民館） ☎45-8446